

育成センターだより

10月 第6号
那賀町青少年健全育成センター
2018年10月10日発行

学校・地域が行事でつながる

田畑の畦道に、鮮やかな紅色の曼珠沙華が咲き、秋の訪れを一層感じます。今年は台風が24号・25号と連続して四国に接近し予定していた行事も延期したり中止したり大変だったと思います。しかし、このところの猛暑が嘘のように、朝夕肌寒さを感じるほどになってきました。【曼珠沙華】



町内の各学校や各地域では、運動会や体育祭が盛んにおこなわれています。園児や児童、教職員や保護者、さらには地域の人たちが一体となり、参加者一人一人の一所懸命の演技や競技に感動しながら、個々それぞれに満喫したことと思います。

いろいろな行事への参加のたびにいつも感じるのですが、学校では、子どもたちがそれぞれの成長段階に応じて、自分の役割と責任をしっかりと果たし、伸び伸びと行動している姿が随所に見られ、1年間の成長の跡を垣間見ることができ、本当に頼もしく感じます。また、地域では、少子高齢化が進み、年々住民の減少が見られる中、地域の世話役の人が中心となって、いろいろと創意工夫をしながら運動会や文化祭を回を重ね開催していることに、本当に頭が下がります。昨今、人間関係の希薄化がいわれて



います。こんな時だからこそ、学校と地域、地域と地域のつながりをより強固なものにすることが大切です。そのためにも、学校や地域行事がもたらす効果を大切に、ぜひ継続していただきたいと思います。

【那賀高校体育祭 園児と共に】

那賀町通学路合同点検実施

10月3日(水) 那賀署・県南部総合県民局・教育委員会・鷺敷小学校・PTA が鷺敷小学校の通学路の危険箇所を合同点検しました。お互い共通認識の基に実態把握し改善の必要なところは、関係機関と連携を取って児童の安全確保と通学路の安全性の向上に努めることを目的として実施しました。

歩道の狭い場所や道路標識が児童の死角になっているところ、横断歩道の必要な道路・建築基準法に適合していないブロック塀



が3~4箇所あり関係機関に改善を要望していきたいと思っております。相生小学校や平谷小学校・木頭小学校校区の危険箇所も報告していただいております。当センターも危険箇所のパトロールを重点的に実施していきます。

第48回四国地区少年補導センター「香川大会」開催される

9月22日(土)に、第48回四国地区少年補導センター「香川大会」が、香川県さぬき市志度音楽ホールで開催されました。この大会は、四国四県の少年補導センターをもって組織し、センター相互の連携を密接にし、その活動の促進と非行防止を図り、少年の健全育成に寄与することを目的としています。今年は「育てよう青少年 育もう地域の力」という大会テーマのもと午前中は、開会式とアトラクション・講演を行い、午後は全体会として、テーマ別提案発表がありました。



【南川・阿讃峽太鼓】

午前中の講演では、「厳しさは優しさである」という演題で、さぬき市出身の元海上自衛隊横須賀地方総監(海将)だった香川大客員教授の高嶋博視氏の話をお聞きしました。東日本大震災の時、海上自衛隊の総責任者として救援活動を行ったことや自衛隊でのいろいろな苦勞など貴重な体験をお聞きすることができました。

午後からのテーマ別提案発表では、本県の美馬市青少年育成センターが「環境浄化活動」について発表しました。美馬市は那賀町と同じく総面積の8割が山林となっており自然豊かな地域です。環境浄化活動として①白いポストによる有害図書の回収(本町には設置されていません)②健全育成啓発チラシの配布③フィルタリング利用促進活動を実施しています。

現代社会は、少子・高齢化、核家族化及び高度情報化が顕著に進み、今まで想像もなかった少年による凶悪事件、不審者の出没、学校でのいじめ・不登校インターネットやSNS等による被害が多発するなど子どもたちを取り巻く環境はますます深刻さを増しています。このような厳しい状況の中で当センターも関係機関・団体と連携を図りながら青少年の健全育成や非行防止活動に積極的に取り組んでいきたいです。



【講演 高嶋 博視 氏】

相談直通ホットラインを開設しました

あらゆる悩み事を気軽にご相談ください

☎ 090(3184)3646

【みーいんなやさしい(自分の)みりょくをしよう】

秘密は守ります。一人で悩んでも解決しません
先生や家族にも言えないようなことも相談にのります。

那賀町青少年健全育成センター 担当 いけすぎ 生杉

E-mail : kyoiku@naka.i-tokushima.jp